

美しい鳥瞰図で 近代日本を旅する。

大正から昭和期にかけて活躍した鳥瞰図絵師・吉田初三郎。

その作品は、空を舞うような視点と緻密な描写で、

100年前の日本の街並みや風景をあざやかに蘇らせます。

発展する鉄道網、港町の活気、観光地のにぎわいなど、

初三郎の鳥瞰図には近代日本の息づかいが随所に刻まれています。

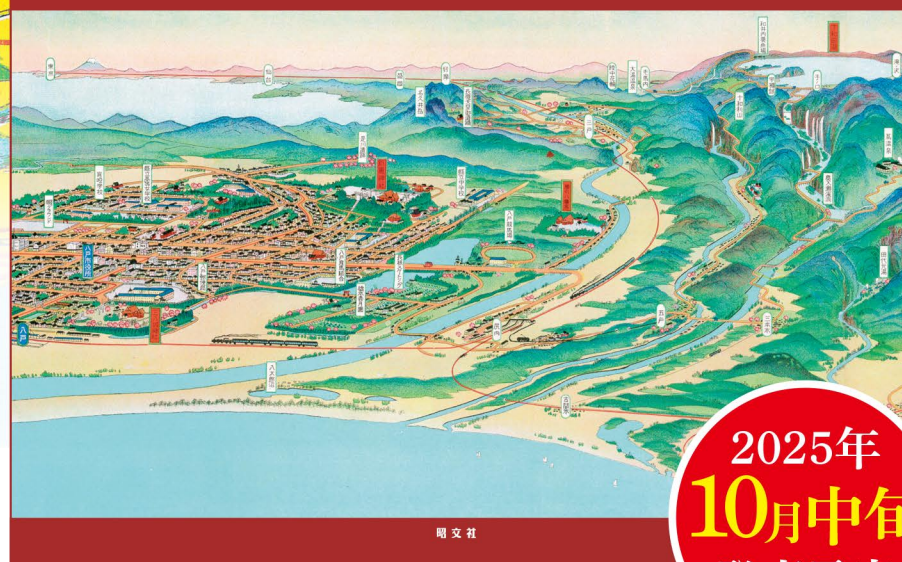
本書を手にする人は、ページをめくるたびに、

時空を超えて旅するような感覚に包まれることでしょう。

初三郎ファンならずとも必見の一冊です。

美しい絵図で訪ねる近代日本

鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界



『鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界』

BA判／112ページ+折り込み両開き観音6図／4620円(税込)

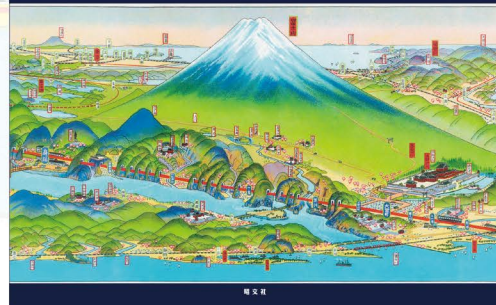
2025年
10月中旬
発売予定

●既刊も好評発売中!

吉田初三郎 鳥瞰図集

大正の広重が描いた全国名所図絵

—よみがえる 100年前の日本—

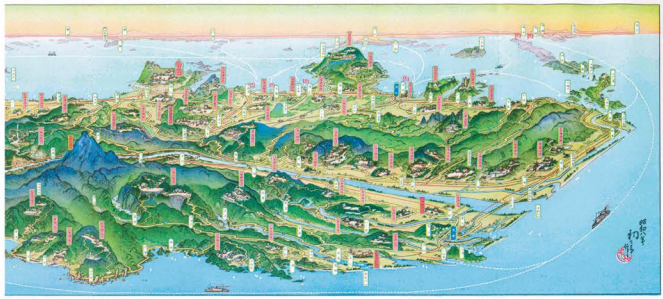


『吉田初三郎 鳥瞰図集』

BA判／112ページ+折り込み両開き観音6図／
3520円(税込)

初三郎の独創的な画法にとどまらず、 地誌を知る楽しさもふんだんに解説。

『四国八十八ヶ所霊場案内の名勝史蹟交通鳥瞰図』



四国八十八ヶ所霊場案内及名勝史蹟交通鳥瞰図

1934 (昭和9) 年、観光社、180×77mm、所蔵：八戸市立図書館蔵本ミュージアム

本作は、四国を太平洋側から見て四国八十八ヶ所の寺を描いたもので、奥に本州、左辺に九州を配置しています。制作に大阪商船が関与したかは不明ですが、示された航路の経路には大阪商船の旗がいくつも見えます。鉄道は控えめに示され、メインの交通網としては八十八ヶ所すべてにわたる道路をしっかりと描いています。その道をたどると所々にも描かれており、裏面の「絵に添えて一冊」でも、スピードを重視する現代社会で、300 百五十里、40 ～ 50 日かけて歩くことを断念する

よりは、自動車でおとそ10日の行程を勧めています。そうすれば、「本島輪図に示すが如く、山容水態いたるところ、神秘を極めた景勝の地に、幽邃静寂の靈光を拝して眼のあたり心身ともに振奮を行く大ドライブ」と。初三郎も、車で回ったと思われ、寺の配置がひとつずつ異なるのは、スケッチによるものであることが推測されます。

古来より四国の山岳信仰の中心で、仏法大開闢の地と称せられ、山岳信仰の中心地と見られる。四国で最も高い高山は、深い緑青色を重ねる

巒に描いています。ふたつの霊場を中心に対置させるため、高知県の北部・東部を極端に圧縮。また、その他の山の名称は山頂に「山」といって、最小限のシンボルに留めています。徳島や高松、丸亀などの都市も描き込まず、所々旅の疲れを癒すように飯を喰わせ、あくまで八十八ヶ所の交通案内と霊場あらかたの地域表現に徹しているのがわかります。表紙は3ヶ所分つづられ、鳥瞰図裏面の八十八ヶ所の紹介とは別に、各寺の詳細が表紙裏に記載されています。



【四国八十八ヶ所霊場案内立江寺 (立江寺四郎)】の表紙。

【四国八十八ヶ所霊場案内立江寺 (立江寺四郎)】の表紙。

【四国八十八ヶ所霊場案内立江寺 (立江寺四郎)】の表紙。

『夕張市鳥瞰図』



夕張市鳥瞰図

1950 (昭和25) 年、夕張市商店、172×790mm、所蔵：八戸市立図書館蔵本ミュージアム

夕張炭鉱は、1876 (明治9) 年にアメリカ人地質学者のライマンにより石炭の調査が行われたのち、1888 (明治21) 年、道庁の技師・飯田太郎が志願加別川流域で石炭の大露頭を発見したことに始まりました。採炭が始まったのは1890 (明治23) 年、そこから1990 (平成2) 年に閉山するまでの100年間、採炭が続けられました。

本作は、夕張市の発展によって、1950 (昭和25) 年に制作したものです。夕張炭鉱が最盛期を迎えるのは、1960年代のこと、まさに上り調子にあ

る夕張の姿が描かれたのです。かつて麻州国に依拠し、東アフリカ大陸といわれる炭田炭鉱を写したところのある初三郎は、本作の「絵に添えて一冊」のなかで、夕張炭鉱は今もなお発展を遂げさせていると記述しています。

中央にそびえる冷水山の手前には、画面の左から右に向かって夕張川支流の志賀加別川が流れています。上流部にあるのが、夕張炭田 (北沢夕張炭田) で、最盛期にはここから年間100万～150万トンの石炭が産出され、国鉄夕張線や夕張

鉄道などによって運ばれました。また、その下流部 (画面右) には平和炭田、さらに夕張川上流部 (冷水山山頂の右奥) には三菱炭田が開発した大夕張炭田があり、冷水沢 (南) 駅から三菱石炭工業大夕張炭田が走っていました。市内のあちこちに家が立ち並び、学校が多く描かれていることから、炭鉱にかかわる多くの人々がここに暮らしていたことが伺い知れます。初三郎は「面白いダイヤ」と呼ばれる石炭の採掘で発展を遂げ、活気があふれる夕張の姿を余す所なく描き出しました。



冷水沢 (南) 駅から大夕張炭田まで、三菱石炭工業大夕張炭田が走っている。

夕張炭田 (北沢夕張炭田) には、炭鉱の露頭がいくつも描かれています。学校や病院など、生活の場が感じられることがわかります。

三菱大夕張炭田保存会によって大夕張炭田跡で保存されている、夕張炭田跡を走ったラジカル (左) 型貨車やスリッパ型貨車。

商品名	ご注文数	貴社番線印
鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界 (新刊)	部	
定価：4620円 (税込) ISBN978-4-398-14770-7		
吉田初三郎 鳥瞰図集 (既刊)	部	
定価：3520円 (税込) ISBN978-4-398-14753-0		
	部	ご注文日： 年 月 日

■ ご注文 昭文社 FAX 03-5166-3400